県下高校初！高校書道で日本一！

８月７日から11日まで、「文化部門でのインターハイ」と呼ばれる第42回全国高等学校総合文化祭の書道部門が長野県松本市で開催され、御船高等学校書道部３年の中野寧々さん（熊本市）が文部科学大臣賞を受賞し、日本一の栄冠に輝きました。

中野さんは、御船高校普通科芸術コースで書道を専攻しており、書道部に在籍。中野さんは、昨年の９月に行われた熊本県高等学校書道展で、県代表として選ばれました。

中野さんの作品は、中国・清時代の書家 鄧石如（とうせきじょ）の筆法で、唐の詩人 李白の詩を小篆（しょうてん）を題材に創作。「鄧石如の厳密な左右対称の字形と緊張感のある書風に惹かれ、書いてみたいと思った」と話します。

▲李白詩「秋登宣城謝眺北樓」文部科学大臣賞に輝いた中野寧々さんの作品（御船高校提供）

練習は、平日は毎日２時間半、土日は、４時間から７時間筆を持ち続け、これまで数えきれないほどの作品を書いてきました。全国出場を決めましたが、「これではまだ全国では勝てない」と、最後の最後まで納得のいくまで作品を書き続けました。全国大会は、約300点の作品が出展され、第１次審査から第３次審査を通過しなければなりません。作品に対して「鄧石如の臨書を通して学んだ強くのびやかな線質、厳密な左右対称を意識した」と語る中野さん。結果は、日本一の栄冠となる文部科学大臣賞。「“日本一”とは思いもしなかった。とてもうれしいです」と喜びをかみしめました。

中野さんは「応援してくれた家族や先生、仲間たちにはとても感謝しています。後輩たちには、自分が納得するまで作品をつくってほしいです。これからも感謝の心を忘れず、自分らしい書道に取り組んでいきます」と笑顔で話しました。

▲日本一の栄光を手にする

▲臨書を見て、イメージしながら書く中野さん

梅田光雄コンサートライブ

８月９日、「梅田光雄&SLAPSTICK~Tour of 2018 SUMMER」ジャズライブが街なかギャラリーで行われました。特定非営利活動法人愛郷吉無田（渡邊秀和理事長）が主催で行ったライブでは、熊本県出身のプロギタリストの梅田さんらが演奏。熊本地震後、音楽で何かできないかと思い、“絆”という曲を作曲。音楽を聴いて笑顔になる中、最後はアンコールが湧き起こり、観客が一斉に手拍子。音と人が一体化する素敵な時間となりました。外では、音楽を聴きながらワインやビールを楽しむ参加者たちでいっぱいでした。

ライブで会場が盛りあがり、熱くなる

耕作放棄地を活用！そばの種まき

８月11日、吉無田高原を守る会（渡邊秀和理事長）が、年々広がっていく吉無田の耕作放棄地を借り上げ、そばの種まきを行いました。草刈りと整地作業をすることで、そばなどのさまざまな作物を植え、農地として再生することが目的。参加者は、一列に並び、約２㌶の地に約60㌔のそばの種をまきました。収穫時期は、10月末から11月ごろ。渡邊理事長は、「フットパスのコースに組み込み、一緒に収穫することで、地域おこしにつなげられるなら」と話しました。

横一列に並び、一斉にそば種をまく参加者たち

熊農生が水前寺菜を学びに

熊農生に笑顔で水前寺菜の指導をする山下さん

８月11日、水前寺菜を研究課題に熊本農業高等学校園芸課の生徒たちが山下啓四郎さん（御船）のハウスで水前寺菜の研修を行いました。生徒たちは、自宅で育てている水前寺菜の茎が細かったり、うまく育たないことなどの問題について、山下さんから使用農薬やハウス栽培、露地栽培での育て方などを詳しく、より実践的に学びました。生徒たちは、「栽培において大切なのは“水”と“肥料”が一番だと勉強になった。家庭での栽培にも活かしていきたい。そして、水前寺菜の魅力をもっとたくさんの人に知ってもらいたい」と笑顔で話しました。

女子プロ野球選手が野球教室

８月16日、女子プロ野球「ＲＥＩＡ-レイヤ」に所属している御船町高木出身の中嶋南美選手が城山少年野球クラブで野球教室を開催しました。これは、地域密着をテーマにした活動で、女子プロ野球の魅力を伝えていきたいという思いで実施。打撃や守備などを子どもたち一人一人に対して、丁寧に指導しました。指導した中嶋選手は「１年前に来たときよりも上手になっていて驚いた。これからの活躍が楽しみ。今後も、こういう活動をして、野球を女子にも普及させたい」と笑顔で話しました。

◀▲バッティングなどを指導する中嶋選手

下辺田見でそうめん流し

▲「早くそうめん来ないかな～」

▲下辺田見をさらに盛り上げるひょっとこ踊り！

８月19日、下辺田見公園で下辺田見子ども会（奥村小百合会長）主催で、そうめん流しが行われました。そうめん流しで使う竹などの準備は、地域住民で行われ、当日は子どもから大人まで約50人が参加しました。イベントでは、御船ひょっとこ愛笑会によるキレのあるひょっとこ踊りで会場を盛り上げました。参加者は、流れてくるそうめんを楽しく食べたり、バーベキューでは猪肉やアユの塩焼きを食べ、地域で交流を深めました。下辺田見の中熊博明区長は「この地域は新興住宅地が多く、こういったイベントが大切になる。これからも絆を深めるために行えれば」と話しました。